厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会長　髙橋　浩
副会長　滝澤　勇
幹事　鈴木茂男
副幹事　前島憲司
会報・IT　小林秀男

インスピレーションになろう

2018～2019　国際ロータリー会長　バリー・ラシン

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2806回例会（9月4日）☆司会　会田義明SAA

点鐘　…髙橋　浩会長

斉唱　…君が代・厚木RCの歌

ゲスト紹介

ルイ・ツ・リンさん（米山奨学生）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・9月ロータリーレート　1ドル＝112円
◎社会福祉法人神奈川県共同募金会　より
・“赤い羽根”共同募金への協力のお願い

スマイル

髙橋　浩会長・鈴木茂男幹事

本日はルイ・ツ・リン米山奨学生が例会出席です。8月29日に吉岡敏前会員がご逝去されまして訃報のご案内をさせていただきました。謹んでご冥福を申し上げます。

前田賢一君

吉岡さんご逝去に際しまして心よりご冥福をお祈り申し上げます。多くの事を学ばせて頂き、何よりも格好良いあこがれの先輩でした。淋しいです。

常磐重雄君

今月号のロータリーの友60頁にティボールの記事が出ました。私の写真が出てましたのでスマイルします。又、事業所開設のお祝いありがとうございます。

和田勝美君

本日、卓話を担当させていただきます、和田です。よろしくお願いします。昨日、9月3日父が90歳になりました。皆様に感謝いたします。

小林秀男君

妻の誕生祝いありがとうございます。忘れておりましたが、間一髪セーフでした。

飛鳥田功君

来週所用によりお休みさせていただきます。戸谷さんの卓話聞けずにすみません。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊夫人誕生日
黄金井一太君（糸子夫人13日）
近藤憲司君（顕子夫人14日）
髙野昌伴君（明美夫人14日）

＊結婚記念日
近藤憲司君（14日）
永石あつし君（17日）

今日の例会（2018年9月11日）

「向う1年の内外経済を見る上での着目点」
担当：戸谷宣之君
講師：三井住友信託銀行調査部
経済調査チーム長 花田　普様

次回の例会（2018年9月18日）

「SDGsについて」
担当：髙野昌伴君

今日のお花

カーネーション（髙橋　浩会長）
アルストロメリア（壽永純昭君）

理事役員会 議事録

日時：2018年9月4日（火）　13：40
会場：厚木商工会議所　302号室

1. 会長挨拶　髙橋　浩 会長

2. 例会行事

9月度例会

4日（火）	ロータリーの友月間	雑誌、広報、年史委員長 和田勝美	例会後理事役員会
11日（火）	卓話	戸谷宣之 会員	
18日（火）	卓話	髙野昌伴 会員	
25日（火）	卓話	近藤憲司 会員	

10月度例会

2日（火）	米山月間	米山奨学委員長 前島憲司	例会後理事役員会
9日（火）	休会		
16日（火）	職業奉仕、親睦委員会合同移動例会	職業奉仕委員長 黒柳告芳・親睦委員長栗原良幸	
23日（火）	ガバナー補佐訪問	髙橋　浩 会長	
30日（火）	卓話	内山全浩 会員	

3. 議題

①例会行事について
②地区大会について：バス集合時間等詳細は後日連絡
③11/12 ～ 15厚木市主催セーフコミュニティ大会案内と協賛金の事案
第9回アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会：（テーマ）自助、共助、公助による安全の創出
参加者：（市民,国内外の安心・安全に関する専門家、研究者、活動者）厚木市開催で今回のみ
※協賛金1万円協力で参加者に配布される部数500程度のプログラム内でA4版1/4で紹介
厚木RCは理事役員会で協賛金協力決定,厚木の他3クラブは9/7（金）会長幹事会以降,協賛を判断
④その他
Ⓐ（8月親睦例会、会計報告）　11日例会にて会員に配布
Ⓑ（2017 ～ 18年度）　一般会計収支報告書11日例会にて会員に配布
Ⓒ（本厚木南口再開発事業名刺広告の件）9/14（金）神奈川新聞2部にて広告,費用は掛からないとのことです

卓話「ロータリーの友月間　一隅を照らす」

担当：和田勝美君

「ロータリーの友」の歩み

新しい雑誌の発行が決定

1952（昭和27）年4月、第60地区の大会が開催されました。同年7月に迎える新年度（1952－53年度）から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されていましたので、主催者も参加者も、共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その一つに、日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動をしてきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として、企画されたのです。

第1回の準備会は大阪で、当時の星野行則ガバナーと露口四郎氏（共に大阪ロータリークラブ）が幹事役となって、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表者が出席して開催されました。

『ロータリーの友』と命名

新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953（昭和28）年1月から、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定されました。

また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2対1の割合で、横書きが採用されることになりました。

国際ロータリー公式地域雑誌に

1977年、標準ロータリークラブ定款第10条（現14条）の改定に伴い、公式地域雑誌（現ロータリー地域雑誌）の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは、国際ロータリー（RI）の機関誌『The Rotarian』だけでなく、RIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。

『ロータリーの友』は、1979年7月号から1年間の試験期間を経て、1980年7月号からRI公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件はいろいろと定められており、また、時代とともに多少変化をしています。

記事についても、毎年度見直し、新しいコーナーを設ける一方で、古いコーナーを中止したりしています。2004年11月号からは、毎月一人ずつのロータリアンを紹介する「風紋」がスタートしました。外部の記者とカメラマンによる取材記事は、それまでになかったことで、ロータリアンやロータリーを客観的に見た記事によって、あらためてロータリーの良さを知る機会にもなっています。その後、クラブを紹介する「手に手　クラブ探訪」、ロータリアンを職業の面から紹介する「この人　この仕事」、「わがまち……そしてロータリー」、「クラブを訪ねて」と、少しずつ形を変えながら、このシリーズは続いています。また、パズル（「パズル de ロータリー」）や本の紹介（「私の一冊」）のコーナーを設け、より親しんでもらえるよう工夫をしています

出席報告　＜会員 42 名、出席対象 37 名＞

8 月 21 日例会　　確定出席率 86.49％	9 月 4 日例会　　出席 26 名　欠席 10 名　出席率 70.27％
	＜欠席＞ 今井銀河君・黒柳告芳君・黄金井陽介君・高橋孝道君 建部卓也君・中和信治君・芳澤　渉君・丸田隆弘君 早嵜慶一郎君・内山全浩君